

總 論

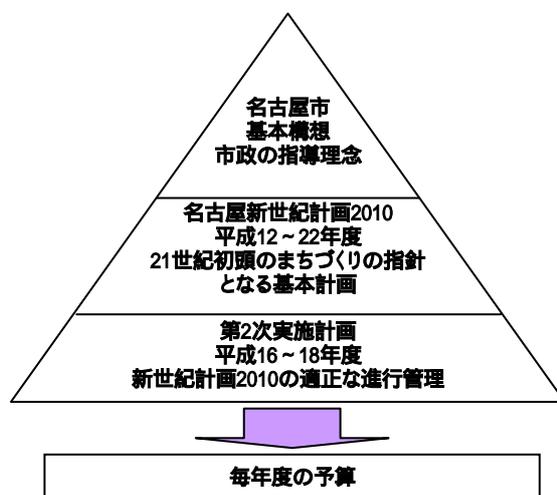
第 1 部 総 論

第 1 章 計画の基本的考え方

1 計画の趣旨

「第 2 次実施計画」は、本市の第 3 次の長期総合計画である「名古屋新世紀計画 2010」に掲げる「誇りと愛着の持てるまち・名古屋」の着実な実現に向け、平成 16（2004）年度から平成 18（2006）年度までの 3 か年を計画期間とし、市民とともに取り組む、主な施策や事業についてまとめたものです。

計画の体系



2 計画の構成

この計画は、「総論」、「部門別計画」および「地域別計画」の 3 部で構成しています。なお、「地域別計画」は、「部門別計画」を 16 区の行政区別に取りまとめたものであり、別途公表する予定です。

(1) 総論

「総論」のうち第 2 章において、厳しい財政状況の中でも課題を先送りせず、市民の力が十分に発揮され、いきいきとした元気な名古屋としていくために、『「協働なごや」で元気発信』を計画目標として掲げ、その実現に向け、3 つの重点テーマを設定し、テーマごとに対応の方向性および主な数値目標、計画事業を示しました。

(2) 部門別計画

「部門別計画」は、「名古屋新世紀計画 2010」にしたがい、22 部門により構成しました。各部門においては、施策ごとに、「基本方針」、「現状と課題」、「数値目標」および「事業計画」を登載しました。

基本方針

「名古屋新世紀計画 2010」に掲げた基本方針に沿って記述しました。

現状と課題

施策をめぐる現状と課題を整理し、的確な対応につとめました。

数値目標

個々の事業を実施することにより、達成をめざす施策の目標を、数値目標として、新たに登載しました。数値目標は、施策の達成状況をより適切に示すものへと改善するよう、今後とも検討をすすめていきます。

事業計画

効果の高い事業、緊急性のある事業を中心に、3 年間で重点的に実施する登載事業の「選択と集中」につとめました。

(注) (1)登載した施策・事業は、本市が国、県、民間など他の主体に対して要請、または連携・協働してすすめるものを含みます。名古屋港関連の施策・事業は、名古屋港管理組合の協力を得て、「港湾・空港」部門などに登載しています。

(2)事業には仮称のものを含んでいます。

(3)複数の施策に関連する事業は、最も関係の深い施策に登載しています。

3 計画の事業数と事業費

(1) 施策数・数値目標数・事業数

区分 柱・部門	施策数	数値目標数	事業数	うち新規 事業数
市民の福祉と健康	16	22	70	6
都市の安全と環境	10	17	100	10
市民の教育と文化	17	24	76	16
市街地の整備	22	33	114	10
市民の経済	12	14	46	8
人権と市民サービス	2	3	12	2
合計	79	113	418	52

(2) 計画事業費

総事業費	一般会計
約 1 兆 300 億円	約 7,600 億円

(注) 計画事業費については、現時点における概算であり、事業手法等の工夫により、事業費の縮減につとめながら、実施計画の実現をはかります。